

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公開番号】特開2010-95553(P2010-95553A)

【公開日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2008-264716(P2008-264716)

【国際特許分類】

C 08 L 67/03 (2006.01)

C 08 L 23/08 (2006.01)

C 08 L 33/16 (2006.01)

【F I】

C 08 L 67/03

C 08 L 23/08

C 08 L 33/16

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) ポリブチレンテレフタレート100重量部に対して、(B) テレフタル酸、1,4-ブタンジオールとテトラメチレングリコールとのブロック共重合体10~60重量部、(C) エチレンブチルアクリレート10~50重量部を含む熱可塑性樹脂組成物。

【請求項2】

(B) テレフタル酸、1,4-ブタンジオールとテトラメチレングリコールとのブロック共重合体と(C) エチレンブチルアクリレートの重量比率が(B):(C)=1:1~1:0.4である請求項1に記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項3】

(B) テレフタル酸、1,4-ブタンジオールとテトラメチレングリコールとのブロック共重合体の曲げ弾性率が30~80MPaである請求項1から2のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項4】

さらにポリブチレンテレフタレート100重量部に対して、(D) 臭素化ポリアクリレート20~60重量部を含む請求項1から3のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項5】

アイソット衝撃値が200kJ/m<sup>2</sup>以上かつ耐トラッキング値が500V以上である請求項1から4のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物を用いた成形品。